

第 10 回議会報告会・意見交換会アンケート回答

(質問)

意見交換会の場で質問させてもらいました。

(回答)

ありがとうございました。これからも率直なご意見を聞かせてください。

(質問)

初めて議会報告会に参加させていただきました。とてもわかりやすい説明で、議員が桐生市を変えようとする熱意がとても感じられました。また出席したいと思います。ありがとうございました。

(回答)

ご出席ありがとうございました。これからもより良いものとなるよう議員全員で頑張ります。またのご出席を心からお待ち申し上げます。

(質問)

議会報告会・意見交換会に参加させていただき、議長をはじめ議員の皆様方の真摯な態度で取り組む姿を拝見して安心いたしました。大変ご苦労さまでした。

(回答)

ご出席いただきありがとうございました。これからも謙虚によりわかりやすい報告会となるよう努力してまいります。

(質問)

学校教育は、未来を背負って立つ人を育てる重要な事であると思います。現代的なテクニック(インターネットなど)よりも、人として重要なこと(命の大切さなど)に重点を置いて欲しいと思いますがいかがでしょうか。

(回答)

貴重なご意見ありがとうございます。とても大切なことであると思います。とかく効率化が叫ばれる現在、例えば「ならぬものはならぬ」など人として大切なことを教育することは重要なことであると考えます。桐生市教育委員会では「豊かな心」を育成するため、「生命尊重」や「規範意識」等を育むための体験活動や集団活動の充実を図るよう各学校に指示しております。一方、激しさを増す情報化社会を生きるためには、インターネットなどを適切に使用出来る生徒を育てることも重要です。桐生市教育委員会では、情報リテラシー教育の充実を目指していますし、ネット見守りパトロールも実施しています。ご意見はとても大切で重要な事です。議会としては、ご意見を教育委員会に伝え、今後の参考にさせていただきます。貴重なご意見ありがとうございました。

第 10 回議会報告会・意見交換会アンケート回答

(質問)

一生勉強という言葉を聞きますが、生涯学習は大切だと思います。市民の多くが参加出来るような学習の機会を設けて欲しいと思います。

(回答)

ご意見の通りであると思います。教育委員会管理部では、生涯学習を推進し市民の皆様の多くが積極的に活動しています。例えば、公民館は多様な学習機会や集会の場の提供など地域における住民の学習需要に総合的に応える社会教育施設であり、高齢者学級や女性学級をはじめ各種講座などを実施しています。

ご質問の「学習の機会」とは、どの様な分野の学習でしょうか。お聞かせいただき、現在活動中のものがあれば紹介させていただきます。よろしくお願いいたします。

(質問)

市民が安心して住める安全なまちづくりに取り組んで欲しいと思います。通学路をハイスピードで通り抜ける車、暗がりに不気味な若者の集団などまだ見受けられます。

(回答)

安全で安心して暮らせるまちづくりの実現は、市政に携わるものとして重要な責務です。ご意見にある事例は、文化的な生活を送る市民としてのモラルの問題という側面はありますが、ご意見を担当する総務部に伝えさせていただきます。問題解決と未然防止の参考にさせていただきます。

(質問)

国民・市民の放射能に関する「感度」が低いように思われます。小泉元首相の「脱原発」の意見もあります。議員諸氏には是非「放射能特別委員会」を設置して市当局の行政行為に反映して欲しいと思います。

(回答)

放射線に関わる問題は、非常に重要な問題と考えます。市民生活部では、福島第一原子力発電所の事故以後、放射線対策室を新しく設置し、これまで市内全域を対象とした空間放射線量の測定のほか、水道水や食品に含まれる放射能濃度測定が定期的に行われるとともに、除染活動も進められてきました。事故から約3年近くが経過する中、放射線量は着実に低減しており、各測定結果からも国の基準値を超えるものは非常に少なくなっています。このことから桐生市議会では、現在のところ「放射能特別委員会」を新しく設置する考えはありませんが、今後もこの問題に関して注視し続け、市民の皆様が安心して住めるまちづくりに取り組んでまいります。

第 10 回議会報告会・意見交換会アンケート回答

(質問)

水道事業を一市だけで継続するようですが、少々心配です。

(回答)

東毛地域の水道の広域化が進んでいます。水道局では（仮称）梅田浄水場建設に専念するために、当面、参加を見送りました。ご意見にあることは、市議会本会議でも度々議論がされています。今後もより良い方向性を見出していくために、ご意見を水道局にお伝えさせていただきます。

(質問)

中通り線の延伸について。中通り線国道 50 号線から薮塚 IC への早期実現をお願いしたい。

(回答)

北関東道の全線開通により群馬県 12 市の中で IC が無い市は、桐生市とみどり市のみとなりました。ご意見の通り桐生市では、太田薮塚 IC へのアクセス道を一刻も早く実現したいと考えております。しかし、国道 50 号から太田薮塚 IC までの多くの区間が太田市になることから、太田市や群馬県に要望活動を粘り強く要望しています。ご意見を担当の都市整備部に伝え参考にさせていただきます。

(質問)

議員さんが西中を利用している実情をわかっていると思いましたが、少し残念でした。市民財産の確保はどの様に考えているのか疑問でした。

(回答)

意見交換会の間でもご意見をいただきました。当日の「第 10 回議会報告会・意見交換会での質問・要望に対する回答」の中で、お答えさせていただいておりますのでご参照ください。

(質問)

議案や請願についての説明をもっとわかりやすく簡素にするべきではないか。難解な言葉が多すぎます。

(回答)

ご意見ありがとうございます。毎回何とかよりわかりやすい言葉でお伝えできるようにと、実行委員会を始め常任委員会でも議論させていただいていますが、なかなか実現できません。政治用語を一つ一つわかりやすい言葉に説明しながらの報告になりますと、膨大な時間がかかってしまいます。報告のどこの箇所をわかりやすい言葉にすれば御理解しやすいかこれからも研究を進めてまいります。ありがとうございました。

第 10 回議会報告会・意見交換会アンケート回答

(質問)

請願第 21 号「消費税増税中止を求める意見書」は、評価に値しないです。

(回答)

ご意見を承りました。

(質問)

桐生の人口流出が著しいです。若年の転職に伴う転出はよくある減少ですが、中高年(40～50 代)の再就職に伴う転出は尋常でないと思います。安定して安住する世代(中高年)の仕事がないために転出することは好ましくないと思います。何らかの策を講じる必要があります。

(回答)

桐生市においては、各世代で人口が減少している中、ご質問にもありますとおり、中高年世代の人口も減少しておりますが、同世代よりもむしろ若年層の転出が顕著に表れている状況にあります。このような状況下において、桐生市議会では地域政策調査特別委員会を設置して喫緊の課題である人口減少問題について集中的に議論をしています。(また、桐生市総合政策部においても、同様の議論を進めております。) 今後は、ご指摘の件も含め、引き続き検討・研究してまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

(質問)

議会報告会・意見交換会の冊子 P 10 に前回の意見分析が書かれておりますが、かなり大雑把ですのもっと提出された意見を載せるべきではないか。詳細に載せる必要はないので、回答は公民館ファイルでよいと思います。

(回答)

ご意見の通りでありまして、ご意見分析については意見交換会の中でいただいたご意見とアンケートでいただいたご意見をカテゴリー別に分けて統計的にどのようなご意見をいただいたかがわかるように作成しています。ですから今後もしもご意見分析については、従来通りとさせていただきます。また、いただいたご意見は、すべて回答をさせていただき公民館ファイルにとじてございますので御理解をよろしくお願いいたします。

第 10 回議会報告会・意見交換会アンケート回答

(質問)

みどり市では「電話でバス」というデマンドバスが運行されておりますが、桐生市内でも導入すべきであります。桐生では高齢ドライバーが増加しておりこのようなバスが必要であると思います。

(回答)

桐生市では平成 24 年 4 月からの 1 年間、新里町においてデマンドタクシーの実証実験運行を行い、平成 25 年 4 月から本格運行を開始しております。また、黒保根町においても平成 25 年 4 月からデマンドタクシーの実証実験運行を行っておりますが、平成 26 年 3 月 31 日には実験運行を終了し、平成 26 年 4 月 1 日から本格運行になることが決定しております。ご意見につきましては担当の総合政策部にお伝えさせていただきます。

(質問)

赤字ローカル線のわ鉄の存廃を検討するべきであると思います。全国の赤字ローカル線も廃止になっている路線が多く、わ鉄も廃止を視野に入れてもいいのではないのでしょうか。沿線自治体も財政難の折、わ鉄を特別扱いして多額の税金をつぎ込むことは考えるべきであると思います。

(回答)

桐生市にとりましてわたらせ渓谷鉄道は、重要な公共交通機関です。特に、交通弱者をはじめ沿線住民にとってなくてはならない貴重な足として、重要な役割を果たしています。ご意見の通り本来沿線各市の財政支援を受けずに運営できることが一番であります。桐生市議会としても予算委員会・決算委員会の集中審議などで、効率的な経営と収支改善に向けた経営努力について議論しています。今後ご意見を参考にさせていただきながら議論を進めていきます。

(質問)

みどり市との合併が全然進んでない感じがします。議員全員が賛成態度を表し、桐生タイムスなどに載せていくべきであると思います。そうすればみどり議員も意識を持つていくのではないかと思います。

(回答)

桐生市は是非ともみどり市と合併をさせていただきたいと思っています。しかしながら現時点では両市のスタンスの違いなどから合併に対する協議が進んでいないことも事実であります。ご意見を参考にさせていただきながら、様々な方法でアプローチをしていきます。

第 10 回議会報告会・意見交換会アンケート回答

(質問)

議会報告会がマンネリ化しているような感じがします。今後は内容を変えていき活性化をはかるべきであると思います。

(回答)

毎回実行委員会の中で「どうしたらよりわかりやすい説明が出来るか」「報告会を活性化して行くにはどうしたらよいか」など活発な議論をしています。ご意見を参考にさせていただきながら今後検討してまいります。

(質問)

六ヶ町村で歩んできた薮塚町が太田に合併した。太田の秘策を研究してください。

(回答)

旧広域圏で合併を実現できることが一番望ましいと考えます。ご意見を参考にさせていただきながら、まずはみどり市との合併実現に向け研究を進めます。

(質問)

桐生市の保険料が他県・他市に対して高いという話があるが、われわれ市民にはわかりません。後で他県・他市の状況がどうなっているのかを記載していただくと有難いです。

(回答)

国民健康保険税については、保険者である市町村が、その市町村の国保加入者（被保険者）にかかる医療費を賄うためにそれぞれ賦課しております。したがって、各市町村の状況（例えば被保険者の年齢構成など）によって、かかる医療費が異なることから、必要となる保険税額も市町村ごとに異なります。

桐生市においては、県内 12 市の中でも高齢化率（人口に占める 65 歳以上の割合）が高いため、医療費がかかる一方で、所得の比較的低い人が多いことから、結果として他市よりも保険税が高くなってしまいます。なお、国保税の賦課については、賦課の方法が市町村ごとに異なることから、一概に比較することは困難かと思われます。後期高齢者医療保険料については、群馬県後期高齢者医療広域連合が保険者となり、都道府県単位で運営していることから、県内統一の基準で賦課されております。

介護保険料については、高齢化率が県内 12 市で一番高く（H25.10.1 現在 30.79%）介護保険認定者数の割合も高くなっています。それに伴い、介護保険サービスの給付も年々増加しています。それぞれの市の介護保険料は、計画期間（3 年間）のサービス見込み量を高齢者の人口に基づき算出しているため、桐生市の介護保険料は他市に比べ高くなっています。

第 10 回議会報告会・意見交換会アンケート回答

(質問)

報告会の内容に関してだが、専門用語は使用しないで、何がどうなるのかをわかるように説明してもらう方が良い。例えば、議案第 60 号だとすれば、所要の改正を行うと結果としてどうなるかを例を挙げて説明すると、なるほどそうなのかと納得が行く。

(回答)

ご意見ありがとうございます。今後ご意見を参考にさせていただきながら実行委員会で協議します。

(質問)

人口減少問題とみどり市との合併は別だろうと思う。産業振興や都市化、道路整備などの諸条件が出来ないと人口増にはならないのではないか。

(回答)

人口減少問題を解決するには、複雑で多面的な政策が必要です。桐生市議会ではご意見を含めた集中審議を地域政策調査特別委員会で行っています。また、一面的に見ると、市域の拡大により地域特性を活かし、一体的な人口減少対策を進めることができるなど、みどり市との合併が問題を解決する側面をもっていることも考えられます。

(質問)

現在高齢者が多くなる時。若者が桐生で生活出来るように市議会は話し合いをしていますね？若者の人口増を考えてください。

(回答)

桐生市においては、生産年齢人口のうち、20歳代、30歳代の子育て世代といわれる若年層の人口減少が顕著になっています。

したがって、年齢構成によるバランスを考慮した場合、ご指摘のとおり生産年齢人口、特に若者の人口を増やすことが大変重要であると認識しています。桐生市議会では、ご意見を含めた問題を「地域政策調査特別委員会」で議論しています。

(質問)

みどり市との合併問題はいかがなものでしょうか。

(回答)

合併実現に向けあらゆる角度からアプローチをしていきます。

第 10 回議会報告会・意見交換会アンケート回答

(質問)

一般会計歳出 11 款とありますが、この款とはどういう意味なのでしょうか。

(回答)

予算を区分するときに使う名称です。「款」は最も大きな区分で、次に「項」「目」「節」と続き、款と項の二つの上位区分は議会で議決されるものです。歳出においては、款、項、目は目的別に分類され、節は性質別に区分されます。

(質問)

中通り大橋下の河川にグランドゴルフ場は出来るのかどうか。

(回答)

現在の予定では、右岸のさくら遊園の下流に建設予定です。

(質問)

広沢町 1 丁目の中に桜木町とか相生町が入り組んでいますが区画整理はできますか。

(回答)

区画整理事業につきましては、道路や建物を再配置し生活環境の向上を図るものですが、密集している市街地では、大多数の方々の移転や、道路用地を生み出すための減歩（土地の提供）、長期の事業期間や事業費を考えますと大変困難な事業となります。

また、町名のいきさつにつきましては、昭和の初期に合併編入した当時の名残が現在に残っているものと考えられます。なお、地番に関する登記や権利関係の書類など、多くの個人情報の変更を伴うことから、関係する町の方々の理解や賛同が必要となりますので今後研究してまいります。

なお、いただいたご意見につきましては、担当の都市整備部並びに総務部にお伝えさせていただきます。

(質問)

開催する時間は決まっているのでしょうか。昼間の開催もあり得るのでしょうか。主婦にとっては忙しい時間です。(曜日も考えていただければ土・日とか)

(回答)

毎回開催にあたり、時間帯や曜日を検討しながら決めています。ご意見を参考にさせていただきながら実行委員会で協議させていただきます。

第 10 回議会報告会・意見交換会アンケート回答

(質問)

資料と内容を事前に知らせて参加者が理解を少しでもしてからの開催はいかなものでしょうか。内容を絞ってわかりやすい言葉での説明をしていただけると有難いです。

(回答)

大変貴重なご意見ですが、どなたがご出席いただけるかを把握することが出来るでしょうか。わかりやすい説明についても、ご意見を参考にさせていただきますながら今後検討してまいります。

(質問)

JR 桐生駅を本町と交差する所へ移し、境野・相生にも駅を設けて公共交通を利用できる下地をつくること。(新桐生～JR 桐生～群大～女子高を直結するバス便を多く運行すること)

(回答)

ご意見を担当する総合政策部にお伝えさせていただきます。

(質問)

番号町名は、本町 1～6 丁目のみ残し、あとは全て昔の町名に戻すこと。歴史ある良い町名がたくさんある。また、宮本町・東町・泉町・高砂町・旭町など少しの世帯だけ取り残されているのは行政の怠慢である。

(回答)

総務部に確認したところ、昭和 40 年代に町名を変更した時点において、そこに在住する住民の意見を尊重したものが現在もそのままとなっているようです。

(質問)

合併するとしても「桐生市」の名は絶対なくしてはならない。

(回答)

ご意見を担当する総合政策部にお伝えさせていただきます。

第 10 回議会報告会・意見交換会アンケート回答

(質問)

説明するのに資料の棒読みはやめてもらいたい。かいつまんでわかりやすく説明してください。

(回答)

報告させていただいている資料は、全て議員が手作りで作成しています。また、議会で作成した資料を議会を代表して発言しますので、正確に市民の皆様にお伝えしようとするのが、棒読みと感じられる要因であると思います。議員もなるべくわかりやすく簡潔な説明に心がけております。御理解をよろしくお願いいたします。